

とむろいし
戸室石だより

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院と!



(財)日本医療機能評価機構認定病院、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

院長からのごあいさつ

能登 裕



患者さんやご家族の皆さんへ初めてののご挨拶を申し上げます。4月1日付で小島前院長の後を引き継ぎ、院長職を拝命いたしました。医療を取り巻く環境の変化は目まぐるしく、その変化に迅速に対応し、適切な医療を皆様方に提供することを最大の使命と考えるにつけ、その責任の重大さを痛感しているこのごろです。私は昭和63年4月に当院へ赴任して以来、内科医師として丸23年間、糖尿病を中心とした内科診療に従事させていただきました。これからは、患者さんに最良で安心な医療を受けていただくため、金沢医療センター職員一同とともに最大限の努力をする覚悟ですので、どうかよろしくご挨拶申し上げます。

私は今回の就任に際し、基本テーマとして「**一步先じた医療の実践**」を提言いたしました。これのより具体的に意味するところは、提供する医療サービスの特徴付け(ないし差別化)ということです。当院の近くには多くの医療機関が集中しています。その中で当院が存在感を示すには、なんでも揃ってはいるがこれといった特徴のないコンビニエントストア的な病院からの脱却が必須であり、今後生き残るためには避けて通れない道ではないかと考えからです。すなわち一步先じた医療を提供することにより、より一層皆様に選んでいただける病院になることが必要だからです。これは医療技術に限りません。看護師をはじめとしたメディカルスタッフや事務スタッフの患者さんに対するサービスについても同様です。

ところで、当院は国が進める政策医療すなわち4疾患5事業の中で、特に「**循環器・血管**」と「**がん**」の両分野に重点を置くとともに、北陸の基幹病院として**地域医療**に貢献することを使命としてきました。今後もこの方針はいささかの揺るぎもありません。これらの使命をより深く自覚し、さらに継続発展させていくことが私に課せられた努めと思っています。これまで循環器・血管分野では「血管病センター」が、がん分野では「地域がん診療連携拠点病院」の指定を機に「がん診療部」がそれぞれ設置され、積極的に活動しています。現在、当院の永年の悲願であった原子力センター、手術部、中央放射線部の増改築を含む「放射線治療棟の整備事業」が着手され、来年5月には完成する予定です。完成の暁には、がん診療の大きな助けになるはずで、また、これに続く立体駐車場の建設でご迷惑をお掛けしている駐車場不足が幾分か緩和されるものと思われま。

また、地域医療においては、県内初の「地域医療支援病院」に指定されて以来、「かかりつけ医」である開業医の先生方との密接な医療連携、継ぎ目のない連続した診療を目指してきました。登録された開業医の先生方から紹介いただいた患者さんの検査結果やカルテ記載内容が先生の診療所で見ることが出来る地域医療連携ITシステム「百万石メディねっと」の稼働もその一つです。さらにNICU(新生児集中治療室)も整備し、本年4月からは「地域周産期母子医療センター」に認定されました。このような地域医療に対するより一層の貢献を果たしていきたいと思っております。

金沢医療センター

院長退任のごあいさつ

小島 靖彦

平成5年1月1日付けで外科医長として当院に赴任し、この3月末で定年退職を迎えることとなりました。昨今の厳しい医療環境の中、何とか職務を全うすることでホッとしていると同時に幸せであったと思っています。

赴任当時は、急患の積極的な受け入れを含め活気有る外科へとその充実を期待していただけに、それに応えられるのかと不安一杯であったことを、今は懐かしく思い出されます。ともあれ、外科の診療目標を患者さん及び紹介医に信頼される医療・診療を行い地域医療の進歩・発展に貢献する、と打ち出し専門分野であった、がん診療を中心とした標準的外科治療の実践と普及、新規診断・治療の開発、緩和医療の実践等として設定し、その遂行の為に環境づくりに尽力して参りました。特に、高い水準のがん診療を総合的かつ効率よく実践するために、がん診療に関する診療各科が連携した「がん診療部門」を現がん診療部長の斎藤泰雄部長と共に平成10年9月に立ち上げ、がん診療に関する症例検討会の定例開催を義務化したことは、当院にとって画期的な出来事であったと思っています。このようながん診療機能の強化が平成19年1月の「地域がん診療連携拠点病院」の指定、「かかりつけ医を支援する能力を備えた病院」として平成20年4月の石川県初の「地域医療支援病院」の指定、あるいは放射線治療棟増改築等整備事業計画の本部承認に繋がり、当院をより一層前進させることができたことと自負するものであります。放射線治療棟増改築等整備事業は本年7月より着工の予定であります。これまで患者さんには、大変ご不便をおかけしていましたが永年の懸案事項が解決できると、大変喜んでおります。

最後になりますが、「信頼される医療」の実践で重要なことは、高度で卓越した医療技術・知識の習得は無論でありますが、人とヒトとの繋がり、信頼関係を構築することであると確信するものであります。金沢医療センターの職員一同は、これらの意識を高く持ちながら、日々研鑽を重ねております。金沢医療センターが施設面、診療面、あるいは地域連携等の医療機能において充実を図ることが出来たのは、患者・家族の皆さんのご支援、ご協力の賜物であると深く感謝する次第であります。今後とも皆さんのご支援をお願い申し上げ、退職の挨拶と致します。

平成23年3月



金沢医療センター

東日本大震災における当院の医療活動

災害医療対策室 阪上 学

平成23年3月11日14時46分に発災した東日本大震災。当院では発災当日から4月17日までに現地へ11班の医療班のべ43人のスタッフを派遣してきました。現地で行った活動の一部を報告させていただきます。

1. 急性期医療活動

現在日本では災害急性期に医療活動を開始できるように訓練を受けたDMATと呼ばれる5名(医師・看護師・調整員)1組のチームが約800あります。当院のチームも発災直後から準備を開始し、当日17時に第1班が出発しました。これは全国の国立病院機構の中でも最も早い出発となりました。さらに翌12日には現場で救急搬送車両が少ないとの情報を受け、第2班が救急車で出発しました。2班ともDMATの参集病院である仙台医療センターに入り、病院でのトリアージ(傷病者の重傷度に応じた振り分け)や救命センターの支援、また自衛隊駐屯地に置かれたヘリ搬送のための仮設治療室での処置や自衛隊ヘリや救急車で傷病者搬送などの活動を行いました。外傷の患者さんはもちろんのこと津波による低体温症の患者さんが多く見られたとのことでした。



2. 被ばく医療活動

ご存知の通り福島第一原発の事故が起こったことにより、避難した住民に対するスクリーニング(測定機器を用いて放射性物質の付着状態を調べること)を行うこととなり、当院からも3月14日に私(阪上)と放射線技師、調整員の3名が現地に向かいました。おりしも3月14日から15日朝にかけて相次いで爆発事故が発生する中、自分たちの被ばくも予測できない状態での活動となりました。福島市、いわき市、郡山市で避難住民、約2000人程度の評価にあたりました。幸い私たちが評価した人の中には除染(放射性物質を洗い流す処置)が必要な人は皆無でした。私たち自身の被ばくに関しては1000μシーベルトあたりまでは致し方ないかと考えていましたが、実際には出発から帰院までの総線量は50μシーベルト(胸部レントゲン1枚程度)であり、大きな問題はありませんでした。複合災害での行動の難しさを痛感しました。

3. 避難所救護所活動・病院支援活動

14日に国立病院機構からの指令により岩手県にチームを派遣したのを皮切りに、以後6チームを岩手県釜石市・宮城県石巻市の避難所中心の診療目的で派遣しました。当初は津波により薬や手帳をなくした人の対応が問題となりましたが、その後はインフルエンザなどの感染や、瓦礫の処理に当たった人の外傷、



こころのケアが問題になるなど、医療ニーズは日に日に変化していました。また被災したいわき病院から水戸医療センターへ患者移送が行われたためこの病院支援の目的で2チーム派遣しました。もともと状態の悪い人が移送中に亡くなるなど、悲しい出来事にも直面せざるを得ませんでした。

今後も全国からの被災地支援は必要だと思います。我々もできる限り協力していきたいと考えています。最後になりましたが、今回の震災でなくなられた方に哀悼の意を表するとともに、被害にあわれたり、避難を余儀なくされている方に心からお見舞い申し上げます。


金沢医療センター




新任医師のご紹介

当院では他の大規模病院と同様4月に多くの医師が入れ替わります。今年も各科で医師の異動があり、研修医11名を含む25名の医師が4月から着任しました。名鑑風に各医師をご紹介申し上げます。(順不同)


※①氏名 ②大学卒業年度 ③診療科 ④一言、モットーなど




① 大西 一朗
② 平成2年度
③ 外科
④ 断らない外科医を目指して頑張ります。




① 中島 正志
② 平成13年度
③ 耳鼻咽喉科
④ 最近は山ガールが流行らしいですが、今年は僕も山ボーイとなって登山に行きたいです。




① 寺島 健志
② 平成14年度
③ 消化器科
④ 消化器科の寺島と申します。消化器科みんなで力を合わせて、内科や外科など他科とも連携して患者さんにいい医療を提供できるよう頑張ります。よろしくお願いします。




① 神野 正隆
② 平成17年度
③ 消化器科
③ 消化器内科の神野です。日々研鑽に励んでおります。よろしくお願ひ致します。




① 竹越 快
② 平成18年度
③ 消化器科
④ 消化器科竹越と申します。よろしくお願ひします。




① 高田 昇
② 平成19年度
③ 消化器科
④ 消化器内科の高田です。恵まれた環境を生かして内科医として研鑽を積みたいと思います。




① 吉田 真理子
② 平成19年度
③ 消化器科
④ 患者さんの話をよく聞き、よりよい治療ができるよう努力します。よろしくお願いします。




① 奥村 美輝
② 平成18年度
③ 内分泌・代謝内科
④ はじめまして、奥村美輝と申します。頑張りますので、よろしくお願ひ致します。




① 宮川 太郎
② 平成19年度
③ 腎・膠原病内科
④ まだまだ若輩者ですが、一日も早く仕事に慣れるよう努めます。宜しくお願ひ致します。




① 久保 達哉
② 平成19年度
③ 小児科
④ 小児科2年目でまだまだ未熟ですが、一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。




① 鷹取 治
② 平成14年度
③ 循環器科
④ 虚血性心疾患を主に担当しています。胸部症状があれば早期に受診して下さい。




① 渡部 公正
② 平成8年度
③ 整形外科
④ 脊椎外科を中心に診療しています。丈夫な足腰を長く保つためのお手伝いをしていきます。




① 竹内 明子
② 平成18年度
③ 皮膚科(非常勤)
④ 一つ一つの症例を真摯に取り組み、知識を深めていきたいと思
います。




① 小村 孝二
② 平成11年度
③ 整形外科
④ 「やさしく、わかりやすく、丁寧」を信条に、スタンダードな治療を行っていきます。




① 石田 晃介
② 平成22年度
③ 研修医
④ 研修医の石田晃介といます。不慣れなところもあるかと思いますが、精一杯頑張ります。




① 中川 浩美
② 平成22年度
③ 研修医
④ 患者さんや、他の医療スタッフとのコミュニケーションを大事にしながら研修します。




① 本道 俊一郎
② 平成22年度
③ 研修医
④ 私のモットーはみんなを笑顔にすることです。そんな医師になれるように頑張ります。




① 角田 真弘
② 平成21年度
③ 研修医
④ 分からないことが多いですが、患者さんやスタッフに信頼していただけるよう頑張ります。




① 鈴木 美佳
② 平成22年度
③ 研修医
④ 少しでも患者さんの力になれるよう未熟ながら頑張りますので、よろしくお願いします。




① 谷内 裕輔
② 平成22年度
③ 研修医
④ 多くの事を学び、成長できるように全力で頑張ります。よろしくお願いします。




① 藤井 揚子
② 平成22年度
③ 研修医
④ 早く患者さんから信頼される医師になれるように、日々精進していきたいと思
います。




① 太田 亮介
② 平成22年度
③ 研修医
④ 北陸の医療と皆さんの笑顔のために頑張ります。



① 古谷 裕一郎
② 平成22年度
③ 研修医
④ 地元は輪島なので、石川の医療に少しでも役立つように頑張ります。宜しくお願いします。



① 眞舘 幸平
② 平成22年度
③ 研修医(歯科)
④ 多くのことを学べる環境にいるので日々研鑽、邁進あるのみ!そんな僕をヨロシクです☆



① 山本 史子
② 平成18年度
③ 研修医(歯科)
④ 一日一日目標を持って、一歩ずつ確実に前進していけたらと思っています。



ニッタ先生の神経百話（第20回） 転んだ後にも気をつけて！



緑が眼にしみる季節になりましたが、皆様お変わりありませんか。

ちょっとぼーっとした顔つきで、家人に連れてこられたRさん、そう言えば歩き方も少し変です。歳のせいか足腰が弱って、時々転ぶようになりましたが、最近元気がなくなり、一日中家の中にいて何もしなくなりました。認知症なのか、はたまた季節柄うつ状態なのでしょう。しかし、診察すると右の手足に軽い麻痺があります。これはいったい・・・？

手足の神経や脊髄の病気は考えにくいと思ったニッタ先生は、脳のCTを撮ってみました。

「アラ～～～」

なんと、CTの写真には頭の左側に出血があり、それも昨日や今日できた新しいものではなく、数週間たった少し古い出血で、さらに左の脳を圧迫していました。全く予想外でした。

脳出血は多くの場合、ある日突然脳の血管が破れて脳に出血が起こり、麻痺や意識障害などがみられますので周りの人もすぐ気付きます。一方、**慢性硬膜下血腫**は、Rさんのように数週間前に転倒して頭部を打ったにもかかわらずその時は何も症状が出ないため気付かず、時間が経ってから（=慢性）頭の中出血するにすぎない**認知症**や**麻痺**などが現れてくる脳出血の1つです。硬膜下とは、頭蓋骨の内側にある薄い膜（=硬膜）と、脳の表面のすきまのことです。つまり、脳の表面に血液がたまり、脳を圧迫する病気です。出血が軽い場合は手術をしないで様子を見ることもあります。基本的には脳外科の先生にお願いして出血を取り除いてもらいます（緊急の場合はその日のうちに）。たいていの方は回復しますが、最悪の場合命に関わる可能性もあります。手術後、認知症がよくなったために、以前に転倒したことを初めて思い出す方もおられます。つまり、慢性硬膜下血腫は、**治る認知症**の1つでもあります。皆様、転んだ後にも注意しましょう。

院内コンサートだより

2011年最初の院内コンサートは1月13日午後6:30より病院講堂にて、アルパ奏者の芝本ゆみ子さんをゲストにお迎えし、二部構成でお送りしました。

第一部の院内スタッフによる演奏は、耳鼻咽喉科瀧口医師のフルートと内科伊勢医師のピアノによる「春の海」の雅な雰囲気が始まりました。洲崎看護師のクラリネットによるサウンド・オブ・ミュージック「私のお気に入り」は木管楽器特有の温かな音色が講堂に響き渡り、ピアニストは泌尿器科越田医師のヴァイオリン、宮川薬剤師のピアノ、私石川のチェロによる「ニューシネマパラダイスメドレー」を弾かせていただきました。弾いていて気持ちの良いメロディーが詰まった曲でした。



アルパ奏者芝本さん

第二部は芝本さんによるアルパ独奏でした。アルパは中南米の民族楽器で手彫の彫刻などの装飾が施された小型ハーブです。芝本さんはパラグアイの民芸品であるニャンドゥティ（パラグアイのグアラニー語で「蜘蛛の糸」を意味するそうです）の青いドレスを着て、アルパの解説などを交えながら「マドリッドのバイオン」はじめ、昨年坂本冬美のカバーでヒットした「また君に恋してる」、スマップの「夜空のムコウ」など全8曲を演奏していただきました。アルパのきらびやかで音の粒が降るような演奏に私も思わず聞き入ってしまいました。今回のコンサートは目にも耳にも美しく楽しい演奏会になったのではないかと思います。（薬剤科 石川友貴 記）

担当医一覧表

平成23年4月1日

診療科目	診療時間	【初診受付時間】午前6時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内科	初診	吉村	北	長岡	吉尾	伊勢	水曜日・初診(消化器)は隔週交代です 水曜日・内分沁・代謝③は午後のみです 糖尿科教室:第1～第4月曜日(14:00～15:00) 高血圧教室:第2水曜日(15:30～16:30) 禁煙外来:毎週火曜日(14:00～15:00)要予約
	初診(消化器)	丸川	神野	吉田/高田	竹越	寺島	
	内分沁・代謝①	奥村	長岡	能登	栗田	長岡	
	内分沁・代謝②	(能登)	(能登)	栗田			
	内分沁・代謝③			奥村			
	腎・膠原病	伊勢	伊勢	宮川	吉村	吉村	
	遠隔	宮川	吉村	伊勢	宮川	宮川	
	血液	吉尾	周藤	吉尾	周藤	大蔵	
	呼吸器		北	廣瀬	北	織部	
	消化器①	神野	太田(肇)	寺島	丸川	丸川	
消化器②	吉田	寺島	丸川	丸川	竹越		
精神科		坂井	小室	杉盛	小室	坂井	
神経内科		新田	坂尻	新田	坂尻	新田	火:物忘れ外来(午前・要予約) 水:頭痛外来(午前) 金:ふるえ外来(午前)
			物忘れ外来(新田)	頭痛外来		ふるえ外来(坂尻)	
循環器科	一診	佐伯	中村	鷹取	中村	鷹取	初診(毎日)
	二診	小見	阪上	阪上	阪上	小見	
	三診	鷹取	佐伯		佐伯	鷹取	
小児科	一診	太田(和)	酒詰	太田(和)	酒詰	太田(和)	午後の専門外来:14:00～16:30(要予約) 健診:火・木曜日の13:30～15:00(要予約) 予防接種:火・木曜日の14:30～15:30(要予約)
	二診	井上	前島	木場	水野	刀裕	
	専門外来(午前)					酒詰・循環器	
	専門外来(午後)	太田(和)・夜尿外来 予防接種	1ヶ月健診:木場 予防接種	太田(和)・腎臓疾患 予防接種	乳幼児健診:太田(和) 予防接種	太田(和)・膀胱造形 予防接種	
		井上・内分沁 水野・神経	刀裕・未熟児発達 水野・アレルギー	井上・内分沁 木場・内分沁	脇坂・神経 酒詰・循環器	刀裕・未熟児発達 酒詰・循環器	
外科	一診	豊原		豊原		豊原	消化器外科初診 月・水・金曜日8:30～11:00(受付時間) 乳腺外来(初診) 月・金曜日8:30～10:00(受付時間)
	二診	竹川		大西		竹川	
	三診	黒阪	(手術日)	黒阪	(手術日)	森田	
	七診	運輸		松村		運輸	
	六診(初)	大西		森田		松村	
	乳腺外来	○				○	
整形外科	初診	池田	納村	長谷川	渡部	小村	
	再診	長谷川	池田	納村	池田	渡部	
	再診	(手術日)	渡部	(手術日)	納村	小村	
脳神経外科	一診	池田	正印	当番医	池田	正印	月・水・金曜日・手術日
	二診	赤池	赤池	(手術日)	正印	赤池	
呼吸器外科	一診	太田(安)	(手術日)	太田(安)	(手術日)	太田(安)	木(14:00～)・火・木曜日の8:30～11:00(受付時間)
	二診	鈴木		鈴木	(手術日)	鈴木	
心臓血管外科	一診	再診のみ	遠藤	再診のみ	遠藤	再診のみ	初診(一診)は火・木曜日です 月・水・金曜日・手術日
	二診	(手術日)	川上	(手術日)	松本	(手術日)	
	三診		松本		笠島		
皮膚科	初診/再診	稲沖	西島	稲沖	西島	西島	靴磨外来:木曜日(13:30～15:30)
	再診	西島	稲沖	西島	竹内	竹内	
	再診	竹内	竹内		竹内	竹内	
泌尿器科	一診	越田	越田	越田	八重樫	越田	ED外来:第2・4木曜日14:30～ 泌尿器ストーマ外来:第3月曜日13:30～ 月・水・金曜日・手術日
	二診	石浦	八重樫	石浦	石浦	石浦	
産婦人科	一診	瀬戸	平林	瀬戸	金谷	瀬戸	妊産婦健診:午前(月～金) 助産師外来:午前(月～金)(要予約) 火・木曜日:手術日 午後:助産師乳房外来(要予約)
	二診	平林	当番医	平林	当番医	平林	
	三診	金谷	(手術日)	金谷	(手術日)	金谷	
眼科	一診	長田	長田	長田	長田	長田	火・木曜日:手術日
	二診	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	
耳鼻咽喉科	一診	瀬口	瀬口	瀬口	瀬口	瀬口	小児聴診:火～木曜日(要予約) 月・水・金曜日:手術日
	二診	中島	中島	中島	中島	中島	
	三診				廣瀬		
放射線科	一診	斎藤	多田		多田	斎藤	照射の依頼:毎日可
	二診	小林	小林	小林	小林	小林	
歯科口腔外科	(超音波)	横原	多田・牧田	大久保	多田・横原	横原	火・木曜日:手術日
	初診/再診	中尾		能崎	初診のみ	小山	
	再診	能崎	(当番医)	中尾	(当番医)	中尾	
	再診	小山	(手術日)	小山	(手術日)	能崎	
	再診			山崎	(手術日)	山崎	
麻酔科	一診	岸越	岸越		岸越	岸越	ペインクリニック・術前診察:午前中
	二診	横山	野竹		武川	太田(敏)	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。

投稿記事のご紹介

お手紙と短歌をご投稿いただきましたので紹介させていただきます。

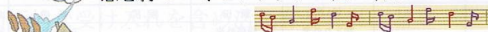
41号に私の投稿をのせて頂き有難うございました。可愛らしい蝉、今にも羽根を立て鳴きそうなコオロギが主役になり、すばらしい裏方のおかげさまで、私の歌も引き立ち、どこまでもの御心使いが感謝でございます。



雪が舞い 南天の實の ホノ赤く



窓を打つ 冬のソナタが 風の音か



田中 邦子

「戸室石だより」読者の皆さまへ

～投稿記事募集のご案内～

戸室石だよりでは読者の皆さまより、短歌、俳句、随筆、エッセー、写真などの文芸作品を随時募集しています。頂いた投稿については戸室石だより編集委員会において厳正なる審査のうえ戸室石だより紙面上で紹介させていただきます。投稿先は下記のとおりです。皆さまのご応募お待ちしております。(戸室石だよりは1月、4月、7月、10月の年4回発行を予定しています。)

持参の場合：金沢医療センター内の「御意見箱」に投函、又は地域医療連携室までご持参の程よろしく申し上げます。

郵送の場合：〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号

金沢医療センター地域医療連携室内 戸室石だより編集委員会事務局

Eメールの場合：admin@kanazawa.hosp.go.jp (表題を「戸室石だより投稿」として下さい。)

*いずれの場合も住所、氏名、連絡先等の記載をよろしくお願い申し上げます。

～～～金沢医療センターの理念及び基本方針～～～

【理 念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、安全で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療を提供します。
- 一、臨床研究を行い、医学の進歩に貢献します。
- 一、病診連携を推進して、地域医療に貢献します。
- 一、医療提供基盤の安定に努め、医療環境の向上を図ります。

患者の権利・義務

医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。金沢医療センターでは、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いいたします。

【患者さんの権利】

- 1. 人格を尊重した医療を受けることができます。
- 1. 良質な医療を公平に受けることができます。
- 1. 病状、治療法、見通しなどの説明を十分に受け納得の上で、治療方法を選ぶことができます。
- 1. 病状、治療法、見通しなどに関して、他の医師の意見(セカンドオピニオン)を聴くことができます。
- 1. 自分の診療録(カルテ)の記載内容について知ることができます。
- 1. 病状や診療内容に関する個人の情報は、厳密に保護されます。

【患者さんの義務】

- 1. ご自身の健康状態をできるだけ詳細かつ正確に、医師をはじめとする医療提供者にお知らせ下さい。
- 1. 検査や治療方針について納得し合意のうえ、意欲を持って取り組んでください。
- 1. 快適な療養環境づくりに協力下さい。
- 1. 病院の規則と職員の指示を守ってください。

編集後記

『想定外のことが起こった』。東日本大震災以後、毎日のように耳にする言葉ですが、振り返ってみれば、私たちの日常においても些細なことでたびたび感じることはないでしょうか。想定外と思わないで済むための普段の心がけを、今一度自身に問うことを求められているような気がします。(K.K.)

発行元：金沢医療センター (〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号)

電話：076-262-4161、FAX：076-222-2758、

ホームページ：http://www.kanazawa-hosp.jp/、Eメール：admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室 直通電話：076-262-4187、直通FAX：076-262-4188

編集委員：伊藤眞奈美、大伴佐織、奥村達夫、小原香耶、越田 潔、周藤英将、津田朋恵、仲村恵子、中村由紀夫、西原寿代、森谷 長(五十音順)

金沢医療センター